

地域とともに歩む学校を目指して ～町学校運営協議会とともに～

提案者 芳賀町立芳賀南小学校 教諭

吉河 洋子

1 はじめに

平成27年12月に取りまとめられた中央教育審議会答申「新しい時代の教育と地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」を踏まえ、学校運営協議会の設置の努力義務化やその役割の充実などを内容とする、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、平成29年4月1日より施行された。

芳賀町においては、町でどのような子どもたちを育てるのか、教育で何を実現していくのかをビジョンとして掲げ、保護者・町民・学校が一体となって子どもたちを育むべく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第四十七条の五にもあるように、相互に密接な連携を図る必要があるとして、町で一つの学校運営協議会を設置した。

そこで、「次世代の学校」を実現するための協働体制の在り方の一つとして、芳賀町学校運営協議会の取組を提案したい。

2 提案内容

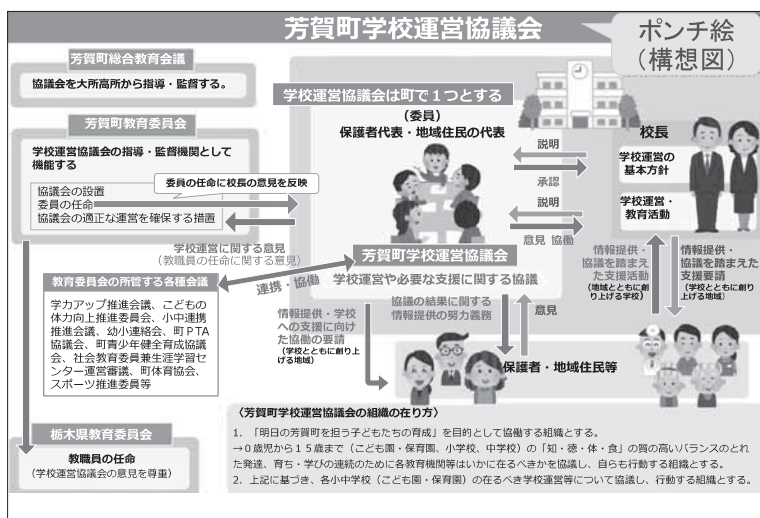
(1) コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みである。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。学校運営協議会は、学校と地域による連携・協働の橋渡し役であり、「学校の応援団」とも言える。

(2) 芳賀町学校運営協議会

令和元年度、芳賀町教育委員会は、学校や学区ごとではなく、自治体内の全校（3小学校1中学校）を一括する協議会を設置した（県内初）。これは、町全体で学校運営に参画し、学びの幅を広げ、地元へ愛着をもった人材の育成を目指すものである。

自治体内の全校を一括する協議会にしたことによる最大の強みは、町教育委員会が中心となって運営に関わっている点である。一つの学校に設置した場合、校内の負担が少なからず考えられ、町教育委員会の運営は業務改善にもつながる。



(3) 活動の実際

①年間活動内容

令和元年度は6回、協議会が開かれた。各回の内容は次の通りである。

月 日	内 容
5 / 14	・委員の任命（委員の任期は1年、再任を妨げない） ・芳賀東・芳賀北・芳賀南小学校をコミュニティ・スクールとして指定（昨年度は、芳賀中学校をコミュニティ・スクールとして指定。これで町内の小中学校すべてがコミュニティ・スクール化した） ・全学校の学校経営方針の説明と質疑応答及び承認
7 / 24	・協議会委員による報告 ～芳賀中学校支援ボランティア「お掃除応援隊」について～ ・学校関係者評価についての協議 ・熟議「子どもたちの安全・安心のためにアクションプランを立てよう」①
9 / 28	・学校関係者評価に向けた分科会についての打合せ ・熟議「子どもたちの安全・安心のためにアクションプランを立てよう」②
10 月	・学校ごとの分科会（10 / 2 芳賀東小学校・10 / 16 芳賀中学校・10 / 16 芳賀北小学校・10 / 24 芳賀南小学校）授業参観・施設見学も含む
11 / 15	・分科会についての情報交換及び各校に必要な支援についての話し合い ・熟議「子どもたちの安全・安心のためにアクションプランを立てよう」③
2 / 26	・学校関係者評価 ・学校運営協議会から教育委員会へ意見具申 ・熟議「子どもたちの安全・安心のためにアクションプランを立てよう」④ まとめ 観点1「インターネットに関する問題」 観点2「通学時の安全確保」

令和2年度はコロナ禍にあったが、6月26日・8月29日・10月（学校ごとの分科会）・11月18日に実施。昨年度の観点を踏まえ、今年度のテーマは「子どもたちの見守り活動」。2月・3月にも協議会の開催を予定している。

②お掃除応援隊

芳賀中学校支援ボランティア「お掃除応援隊」は、学校運営協議会委員と学校側との会話の中で、「清掃時の指導者が多いと助かる」という一言から発足したものである。学校ではかねてより、「清掃時の指導者数が増えるとよい」と考えており、「ボランティアがいれば…」という背景があった。理想を現実のものにした例である。実際にスタートしてみると、地域の方々と一緒に清掃を行うことで生徒の心は耕され、また地域の方々も生徒から元気ももらい、日々の生活に張り合いが出るという、相乗効果をもたらすことになった。そして核となる部分は「地域とのつながり」である。現在、「お掃除応援隊」は、コロナウィルス流行を鑑み、「消毒ボランティア」として生徒が下校後、活動している。芳賀東小学校、芳賀北小学校、芳賀南小学校にも別のグループが入り消毒ボランティア活動を行っている。

3 成果と今後の課題

令和元年度で組織ができ、活動も軌道に乗ってきた。今年度のテーマは「子どもたちの見守り活動」であるが、学校ごとに「こども110番の家の再チェック」や「安全を啓発できるような文言が書かれたマグネットシートを貼っての学区内の運転」等、具体策が挙がってきている。

そのような中で、学校運営協議会が「明日の芳賀町を担う子どもたちの育成」を目的として協働する組織となり、地域・保護者・学校が協働していく上での柱となるようにしていきたい。また、学校は、地域とのつながりを作るために、地域に求めるのみではなく、自ら地域に近づく努力もしていきたい。